

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 541 号	氏名	Omar Ahmed Din Hassan
学位審査委員		主 査 吉浦 孝一郎	
		副 査 金子 修	
		副 査 濱野 真二郎	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、軽症マラリアを発症する宿主要因を明らかにする目的で、Toll-like receptor 9 (TLR9) および low affinity immunoglobulin gamma Fc region receptor II-a (FCGR2A) の遺伝子型に注目し解析を進めており、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ガーナの Great Accra 地区の健康な 429 人の子どもを対象とし、2007 年 6 月から 2008 年 7 月までのコホート研究により、軽症マラリアの年間発症率を表現型指標とした。PCR-直接シーケンス法により遺伝子型の決定を行い、標本選択バイアスを除外するようにデザインされた対象選択を行っており、遺伝子型決定、統計学的解析等の研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 TLR9 遺伝子のイントロン内一塩基多型 (SNP) : rs352139 の G アレルがホモ接合の場合において軽症マラリア感受性をもたらし、TLR9 のエキソン内 SNP : rs352140 の G アレルがホモ接合の場合において軽症マラリア抵抗性をもたらすことを明らかにした。また、これらの SNP は TLR9 遺伝子発現にも重要であることを明らかにした。FCGR2A は、マラリア発症に関して関連は認められなかった。結論にいたる考察過程は合理的であり、本論文の結果は、今後のマラリア発症の分子疫学研究を進展させるものと大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は、マラリアの分子疫学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			